

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年										2025年									
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ～8日	7月 ～13日	7月 ～20日	
カンピロバクター	38	25	57	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	13	8 (9)	6	
病原性大腸菌	105	92	79	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	22	19 (21)	15	
腸管出血性大腸菌	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	2	0	0	
サルモネラ	2	7	5	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	3	3	1	
黄色ブドウ球菌 MSSA	16	4	12	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	2	2	0	
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	6	3	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	0	2	1	
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	0	0	2*	
ロタウイルス	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	
アデノウイルス	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	0	1	0	
ノロウイルス	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	0	1	0	

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

*その他は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和7年第29週(7月14日～7月20日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4	1				2	1	
三類	6	腸管出血性大腸菌感染症	6			3		2		1
四類	1	レジオネラ症	1					1		
五類	160	急性弛緩性麻痺	1				1			
		急性脳炎	2					1	1	
		侵袭性肺炎球菌感染症	1							1
		梅毒	4		2			2		
		百日咳	152	18	39	23		51	7	14

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年29週(7月14日～7月20日)

■コメント

1 ヘルパンギーナ

定点当たり2.41人の報告があり、多い状況が続いています。

2 百日咳

51件の報告があり、多い状況が続いています。乳児は重症化リスクが高く、特に注意が必要です。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種対象者は早めに接種を受けましょう。

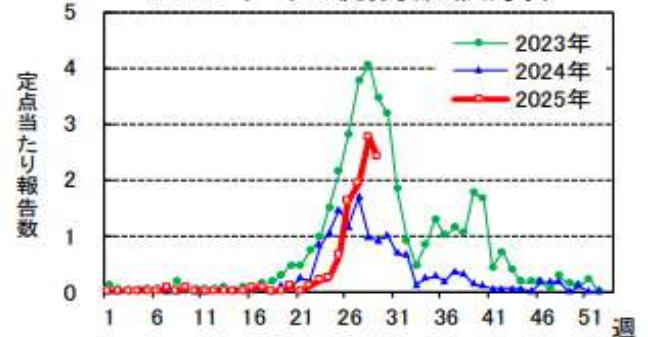
3 伝染性紅斑

定点当たり3.23人と、多い状況が続いています。妊婦が感染すると胎児水腫や流産を引き起こす可能性があるため、特に注意が必要です。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.37人の報告がありました。4週連続で増加しており、全国でも増加傾向です。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、基本的な感染予防対策を心がけましょう。

ヘルパンギーナの流行状況(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1899	54.26			→	小児科	突発性発しん	6	0.27	0.25		
	インフルエンザ	2	0.06	0.31				ヘルパンギーナ	53	2.41	1.08		↗
	新型コロナ(COVID-19)	48	1.37			↗		流行性耳下腺炎	-	-	0.07		
小児科	RSウイルス感染症	3	0.14	3.18			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		
	咽頭結膜熱	11	0.50	0.24				流行性角結膜炎	10	1.25	0.35		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	69	3.14	0.95		↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	129	5.86	3.12		↗		無菌性髄膜炎	-	-	0.09		
	水痘	8	0.36	0.11				マイコプラズマ肺炎	11	1.83	0.23		
	手足口病	22	1.00	5.99		→		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	伝染性紅斑	71	3.23	0.01		↗		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		

急増減

↑

前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減

↗

前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減

↘

前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい

→

ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	68	50歳代・推定感染地域: 国外、80歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	19	50歳代・O145、50歳代・O157
4	レジオネラ症	1	21	80歳代・市外
5	急性脳炎	1	5	10歳未満
5	梅毒	2	74	50歳代、70歳代
5	百日咳	51	629	10歳未満・22人、10歳代・24人、30歳代・2人、40歳代・2人、60歳代・1人